

図書だより



—令和6年1月19日：飯山満中図書館—

新しい年が始まりました。今の学年で学校生活を送るのもあと2か月ほどとなりました。それぞれの目標に向かって、頑張っていきましょう。今年もよろしくお願いします。

図書館よりお知らせ

《特設コーナーは“ファンタジー”》

今年の干支は「辰」たつ年です。十二支の中では唯一想像上の生きものですが、本の中には多く登場します。龍を中心に、架空の世界が広がるファンタジーの本を集めてみました。手に取って読んでみてください。

《百人一首大会開催》

1月25日（木）、26日（金）昼休みに百人一首大会を開催します。大勢でできるコーナーの他に、1対1または2対2で対戦できるスペースも設けます。見学も歓迎です。図書室に来てください。



《返却していない本はありませんか》

冬休み前に借りた本の期限は1月16日（火）でした。督促状が出た本に心当たりが無い人は司書に伝えてください。

《蔵書点検が終わりました》

1年に1度、学校図書館の本を全て点検します。本校も点検が終わりました。行方不明の本は後日、図書委員よりお知らせします。

《新しい本が入りました》

今年度最終の新刊です。19日から貸出しています。どんな本が入ったか見に来てください。カウンター前の本棚です。

特設コーナーより

テーマ：「実在しない？生きもの」の本



⇒「ちび竜」工藤直子：文 あべ弘士：絵（童心社）

竜が主人公の絵本です。工藤さんの素敵な文とあべさんの迫力ある絵でお楽しみください。

⇒「古事記」橋本 治：著（講談社）

日本最古の書物として有名ですが、何人もの作家さんが数々の話の中から本にしています。講談社の本は橋本治さんの訳したお話になります。作中に登場するヤマタノオロチは『胴が一つ、頭と尾がそれぞれ八つに分かれ、人を飲み込みにくる』と書かれています。

⇒「図説 世界の神獣・幻想動物 ファンタジーの世界」ボリア・サックス：著 大間知知子：訳（原書房）

神話に登場する一角獣から、ハリーポッターの妖精トビーまで、様々な想像上の動物が登場する本です。全て読まなくても、気になる写真や絵のページを見るだけでも面白いです。

司書の冬休みの思い出は、滋賀県近江神宮で百人一首大会を見学した事です。名人戦（男性日本一）とクイーン戦（女性日本一）の日で、手に汗握る展開となりました。図書館で開催する百人一首大会では、皆さんの参加を待っています。

学校司書：藤森